

津市モーターボート競走場経営改善計画の概要

経営改善計画への取組

平成17年5月 津市モーターボート競走場経営改善検討委員会の設置

平成17年11月 同検討委員会報告書の提出

「相当な経営努力は必要であるが存続は可能である。」

経営改善計画策定の趣旨

- (1) 現行の経営状況から脱却し、安定的な収益の確保ができる経営体質を目指す。
- (2) 施設資産の有効活用（施設のアメニティ化、収益源化）

経営の基本方針

- (1) 収益の確保
地方財政に貢献すること。
- (2) 地域雇用の場の提供
地域経済の活性化に寄与すること。
- (3) 健全な大衆レジャーの提供
大衆レジャーとして定着していること。

経営改善を達成するための基本的方針

6つの視点から取り組む

- ① 顧客満足度の向上 本場来場者
固定的顧客層、流動（潜在）的顧客層、新規顧客層
電話・インターネット投票
- ② 商圏の拡大 戦略的な宣伝・広報、小規模場外発売場の設置
無料送迎バスの活用、場間場外発売委託の拡大
電話・インターネット投票
- ③ 現行資産の有効活用 SG・G1競走の誘致、薄暮ナイターレースの導入
場間場外発売受託の拡大、ツッキードーム等の活用
施設の収益源化
- ④ 競艇場のイメージアップ 企業との連携、大型映像装置のリニューアル
アテンダントの設置
- ⑤ 運営・制度的経費の見直し 従事員制度、法定交納付金制度、選手賞金制度
開催経費
- ⑥ 経営体質の見直し 企業的経営手法の導入、職員の意識改革

計画の期間

平成18年度～平成22年度（5ヵ年間）

第1段階 経営の安定化 第2段階 収益を生み出す経営体質作り

	第1段階	第2段階
時期	平成18年度から平成20年度	平成21年度から平成22年度
内容	経営の安定化	収益を生み出す経営体質作り
目標来場者数	1日平均 3,300人	1日平均 3,500人
目標売上額	本場1日平均 1億1千万円	本場1日平均 1億2千万円
目標経費	平成17年度の開催経費の95%以内	平成17年度の開催経費の90%以内

(注)1 本場1日平均＝本場売上＋電話投票売上

2 平成17年度の来場者数は3,060人(SG全日本選手権分を除くと2,969人)

また、売上額は112,396千円(SG全日本選手権分を除くと95,786千円)

経営改善計画の収支目標

第1段階 経営の安定化

平成18年度

市債の償還に一部基金の取崩が必要。

平成19年度～平成20年度

市債の償還を事業収支等で賄える経営体質へ。

第2段階 収益を生み出す経営体質作り

平成21年度～平成22年度

一般会計への繰出ができる経営体質へ。

経営改善へのフォローアップ体制

津市モーターボート競走場活性化懇談会の設置